

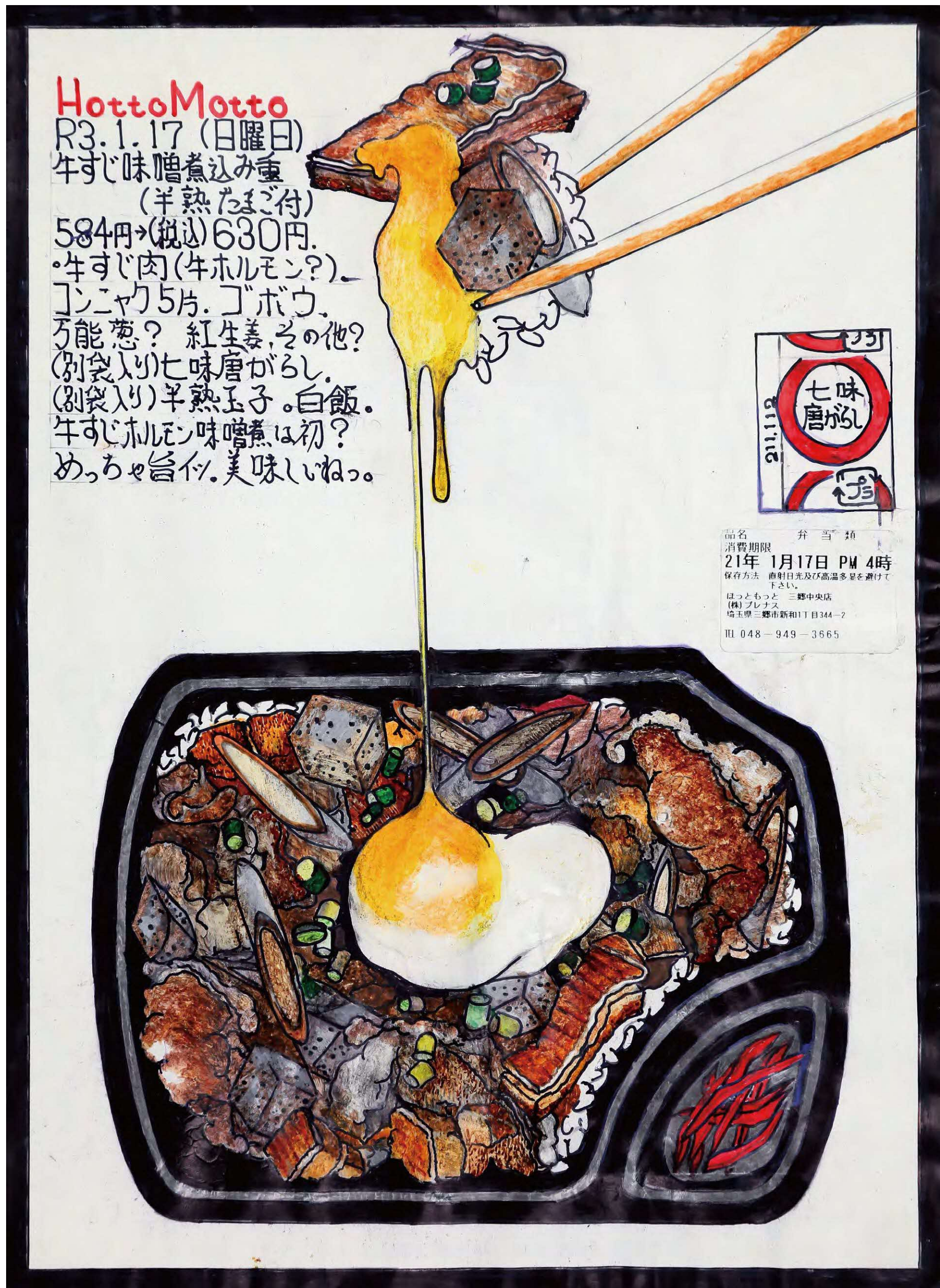
アールブリュット

想像の向こうへ、世界がひらく

小林一緒

Itsuo KOBAYASHI

調理師として働いていた小林は、食べた料理を毎日メモしていたという。26歳頃からメモをもとに、丁寧に清書して描くようになった。病気で足が不自由になってからも描き続け、生涯に描いた作品は数千枚にも及ぶ。全ての食材が見えるように描くのがこだわりで、食事への愛情と食べることを心から楽しんでいた小林の姿が感じられる。



《無題》 紙(カレンダー裏面)、色鉛筆、鉛筆、水性ペン、油性ペン、ラベルシール 2021年

2026年 7月-12月 小林一緒
2026年 12月-2027年 3月 後藤拓也、山根暁

地元商店街と社会福祉法人愛成会のコラボにより、中野のまちでアール・ブリュット*の魅力を伝えるアートイベント「NAKANO街中まるごと美術館!」を、全国に先駆けて2010年から15年以上にわたって開催してきました。「まち」「文化芸術」「福祉」が三位一体となったこのイベントでは、人々の日常にアール・ブリュット作品が溶け込む空間をつくり、多様な人の表現や価値観に触れる機会を創出しています。

ここ「ナカノのナカニワ」では、国内外で活躍しているアール・ブリュット作家の作品を紹介しています。独自の発想と表現方法によって生み出された個性あふれる作品には、人が持つ揺るぎのない表現の力があります。

アール・ブリュットの世界に触れることで、一人ひとりが自分らしく、ありのままに輝ける、これからの共生社会を一緒に考えていくきっかけとなれば幸いです。

*フランスの画家、ジャン・デュ・ビュッフェ(1901-1985)が提唱した概念であり、専門的な美術教育を受けていない人などが、内なる衝動から独自の表現方法によって生み出す芸術作品を指します。アールは「芸術」、ブリュットは「生のままの」という意味を持ち、「生(き)の芸術」とも呼ばれています。

後藤 Takuya GOTO

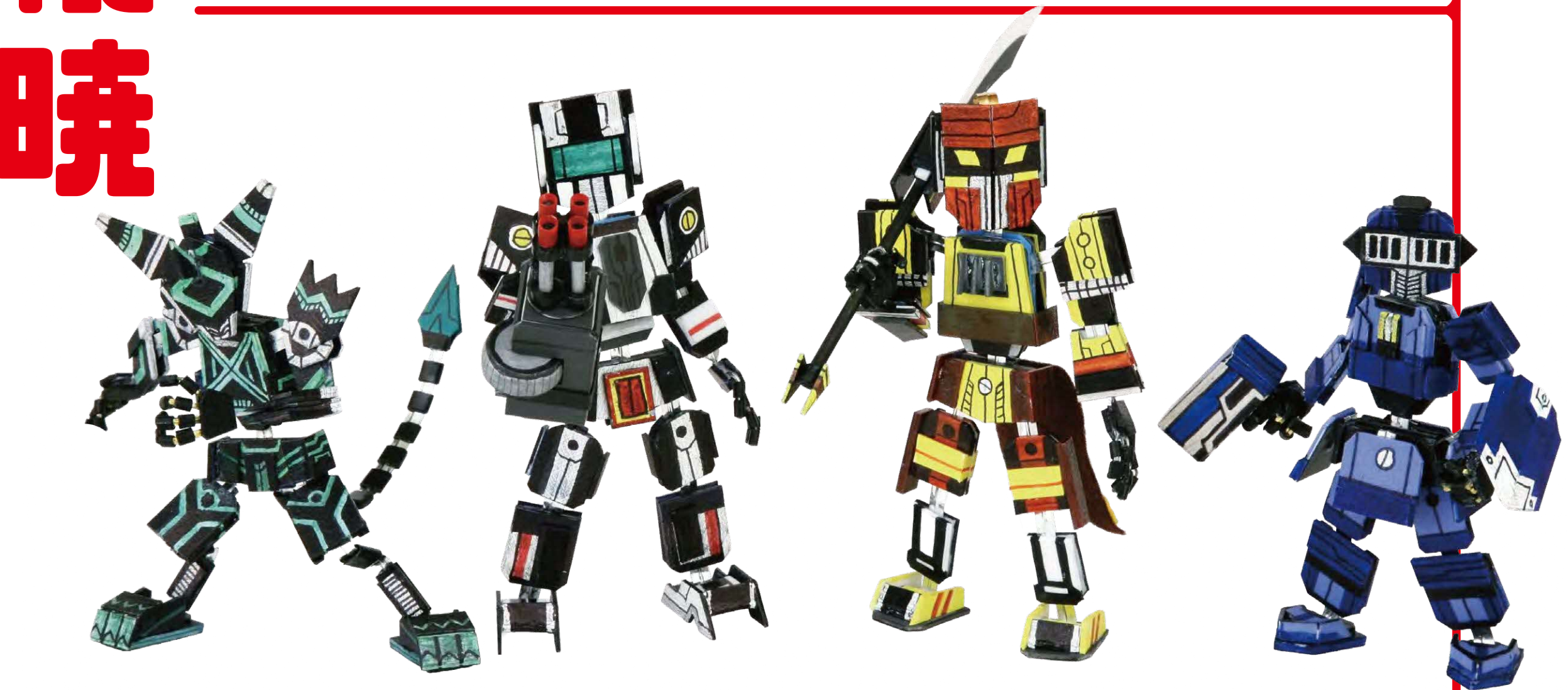
後藤が家の創作を始めたのは2013年頃からである。創作時間は1日にわずか10分で、約1年で1つの作品を完成させる。頭の中にあるイメージから形を作り上げ、最初に間取りを決めると、基礎や柱、梁など最終的には見えなくなる部分も家が建つ工程と同じように作る。細やかな作業には、後藤の家づくりへのこだわりが溢れている。



《いえ》 段ボール、カラーダンボール、色画用紙、ホチキス 制作年不詳

山根 Akira YAMANE

山根は、漫画やアニメに登場するロボットを、自分の手で三次元のかたちにしたいという思いから制作を始めた。身近な素材を用いながら、独自の発想と工夫を重ね、関節まで動くロボットを生み出している。正面から見ると力強く、横から見ると非常に薄い形には、素材の特性を活かした山根ならではの探究心が息づいている。



《鉄壁(ディフェンス)》 プラスチック板、アルミタイ、ビニールテープ、油性ペン、修正液、ストロー、竹ひご、木片、厚紙、竹くし 2015-2018年

中野区役所での関連情報

カラフルな動物たちが織りなすウォールアート

中野区役所の1階にあるミーティングルームAには、佐藤朱美さんの絵画による巨大なウォールアートが設置されています。個性あふれる動物や植物の世界をお楽しみください。



アートイベント情報

NAKANO 街中まるごと美術館!

アール・ブリュット 一人の無限の想像力を探求する一
中野区の商店街と社会福祉法人愛成会が連携し、まちを舞台に毎年1~2月に開催しているアートイベントです。日常の身近な場所で、障害のある制り手を含む多様な人の表現や価値観に触れる機会をつくり、多様性を大切にするまちづくりや人づくりを目指しています。



最新情報はこちら

@artbrut.jp X @artbrut_nakano https://www.aisei.or.jp/

お問い合わせ

社会福祉法人愛成会 法人事務局 共創推進
〒164-0001 東京都中野区中野5-26-18
Tel:03-5942-7259 Fax:03-5942-7252 E-mail:kikaku@aisei.or.jp

※掲載画像は出展作品とは異なる場合があります

